

# 2024年8月期 第3四半期 決算説明資料

2024年7月12日



エコモット株式会社

証券コード：3987

## 01 当社の概要

---

## 02 第3四半期決算概要

---

## 03 事業運営の進捗状況

---

## 04 Appendix

---

**01**

# 当社の概要

## 未来の常識を創る

近い未来、それが当たり前になるような  
新しい革命的な製品を世に出し、人々の幸せに貢献します。

# VALUE

今日、私たちは地球規模で進行する変化の最前線にいます。  
サステナビリティ、DX、GX、ESG問題など時代を象徴するキーワードは、  
単なる流行語ではありません。  
これらは私たちの事業の根幹をなす、避けられない大きな波です。

こういった課題に挑戦し、イノベーションの火付け役となるべくIoT技術を駆使し、  
解決策を提案・実現しています。

**持続可能な未来への重要なステップとなるだけでなく、  
社会の新たな常識を創造する原動力となります。**

02

# 第3四半期決算概要

# 連結売上高が前期比11.8%増 2Qに続き営業利益が黒字転換

コンストラクションソリューションは売上が堅調に増加、前期大幅収益改善  
IoTパワーは売上が倍増し、3Q累計で営業黒字化

# 業績ハイライト

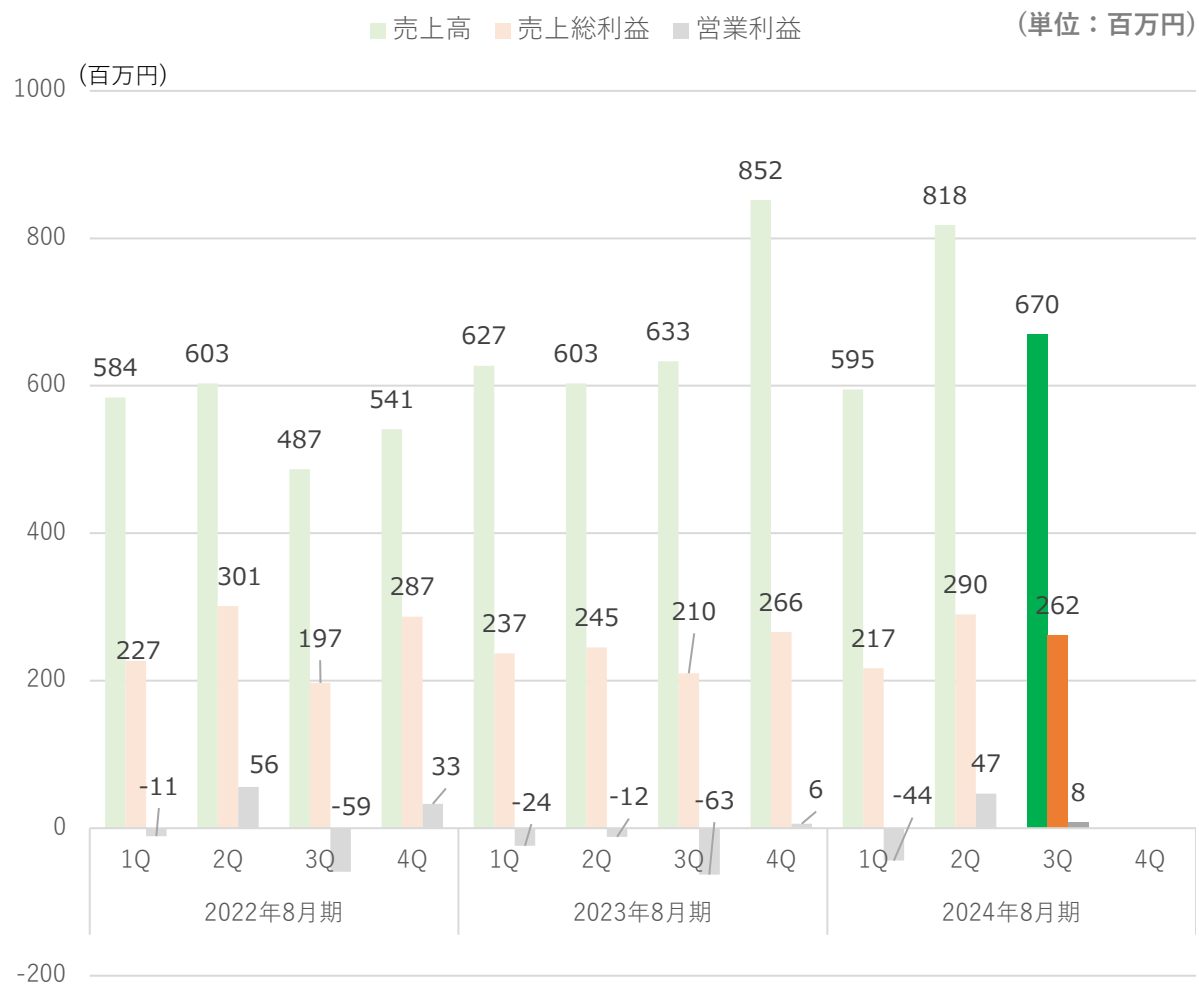


売上高・利益共に前年同期実績を上回って着地。  
4Qは業績予想達成に向けて、各ソリューションで受注獲得に注力

	2023年8月期 3Q実績	2024年8月期 3Q実績	対前年比
(単位：百万円)			
売上高	1,863	2,083	220 (11.8%増)
売上総利益	693 (37.2%)	769 (36.9%)	75 △0.3pt
営業利益	△ 100 (△5.4%)	11 (0.6%)	111 6.0pt
純利益	△ 70 (△ 3.8%)	△ 0.4 (△ 0.0%)	69.6 3.8pt

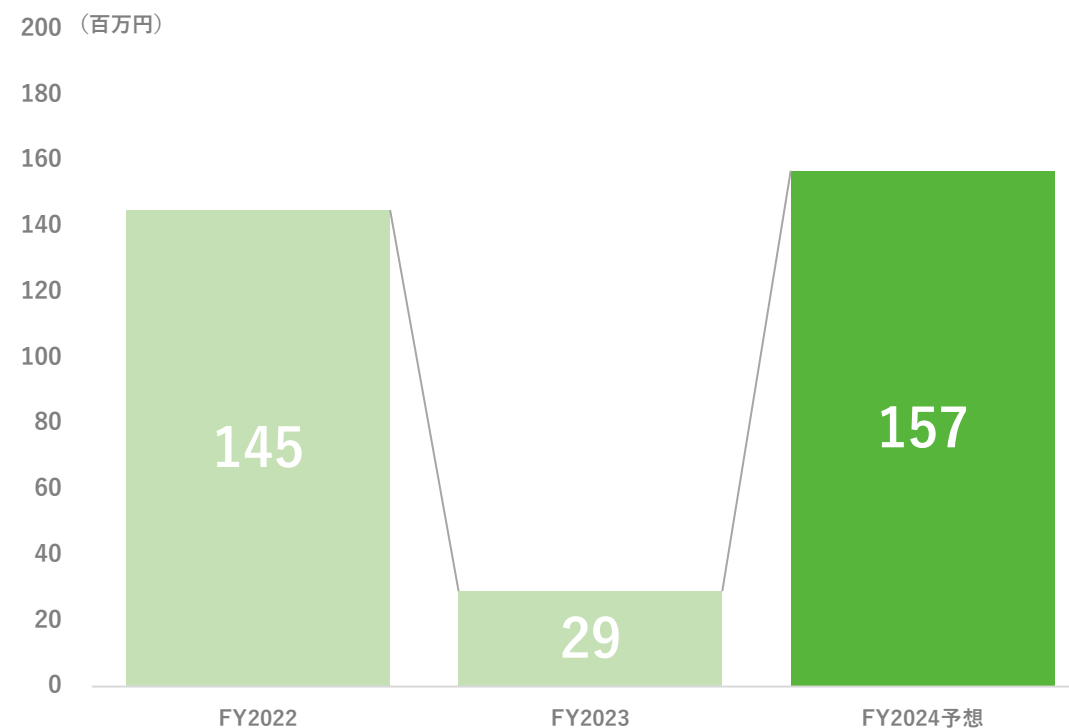


# 業績推移



## EBITDA

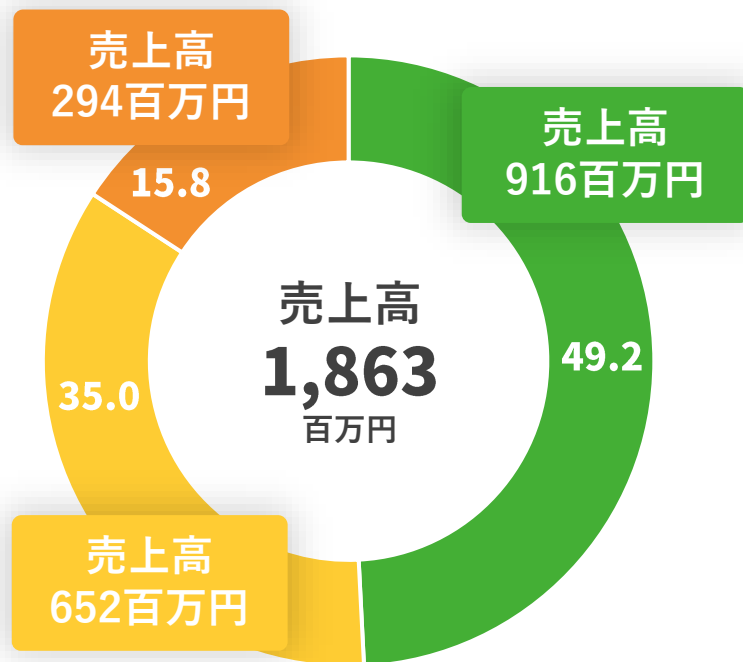
(単位：百万円)



# ソリューション別売上高増減要因

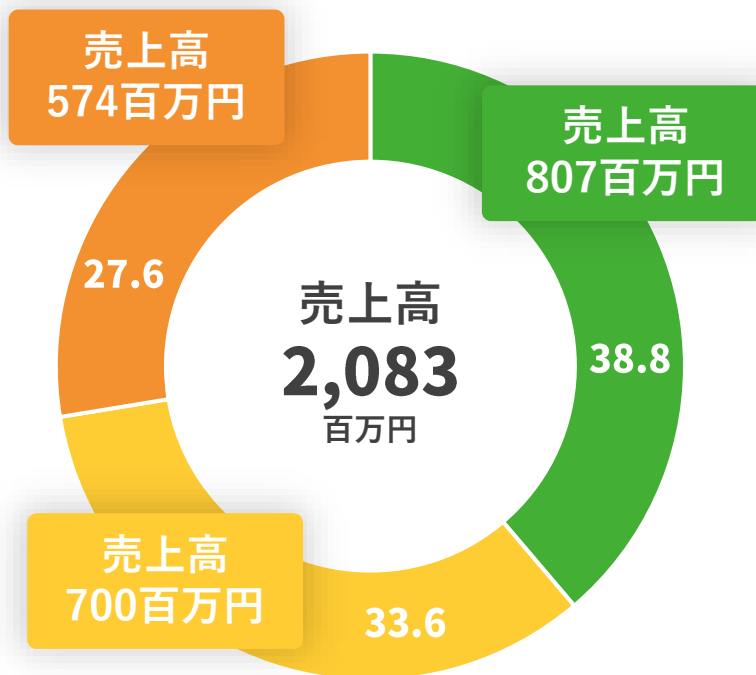
IoTパワードの売上高が伸長したことにより、前期より売上構成が変化  
 コンストラクションソリューションは堅調に推移

## 2023年8月期3Q



## 2024年8月期3Q

(単位：%)



■ IoTビジネスイノベーション ■ コンストラクションソリューション ■ IoTパワード



### IoTビジネスイノベーション



ゆりもっとは堅調に推移、KDDI株式会社との連携強化、積水樹脂株式会社との共同開発も順調。EV充電スタンド及びモビリティサービスの受注が想定より伸長せず、前期を下回る

### コンストラクションソリューション



遠隔臨場ソリューション「Gレポート」が堅調、配筋検査システム「BAIAS」やコンクリート養生温湿度管理システム「おんどロイド」が好調に推移。能登半島地震の災害復旧案件増加により計画を上回る進捗

### IoTパワード



auリニューアブルエネルギーへの初納品含め旺盛なGXニーズにより前年同期比で倍増

# 営業利益増減分析



前期比で売上総利益が75百万円増加。また、人件費や地代家賃等で販管費を低減。結果、前期比で営業損益プラス112百万円改善し、黒字転換



03

# 事業運営の進捗状況

# IoTビジネスイノベーション

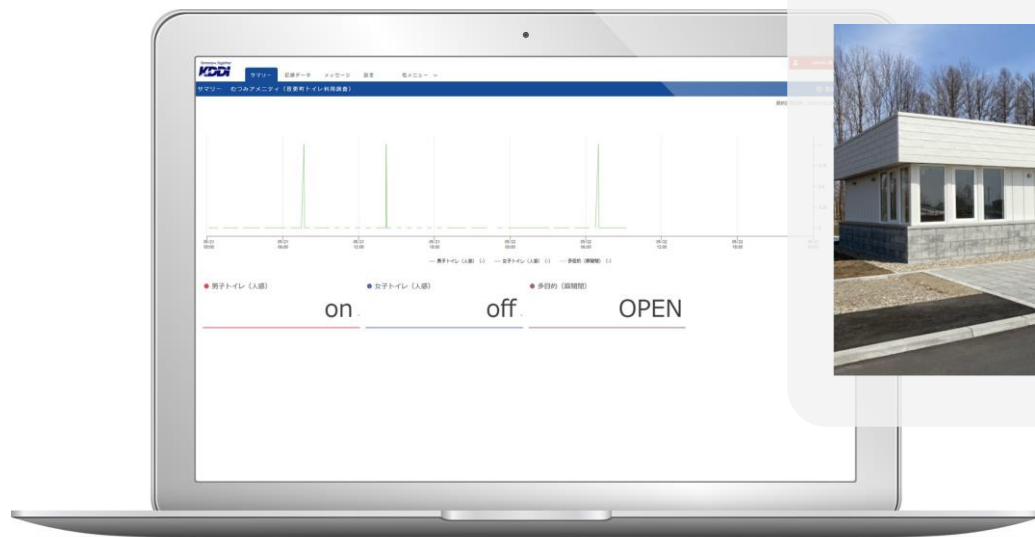


## KDDI株式会社と協力し、公共トイレの利用状況可視化システムを北海道音更町に提供、音更町より感謝状を拝受

公共トイレの通年開放や施設管理に関する優先度の判断が困難であるという音更町の課題に対し、「KDDI IoTクラウド Standard」、IoTゲートウェイデバイス、人感検知センサーならび扉開閉センサーを活用することで、各トイレの利用状況可視化を実現。具体的には、男女トイレ別の入室回数や多目的トイレの利用回数を把握することができ、開放判断や施設管理の見直しを推進するための参考データの収集を実現

### KDDI IoTクラウド Standard サマリー画面

### 音更町の公共トイレに扉開閉センサーを設置



### POINT

- **KDDIとIoT案件で感謝状を拝受**  
KDDIとの協業案件にて、自治体から感謝状を拝受するのは初



- **地域のまちづくりに貢献**  
今後もKDDIと協力し、IoTテクノロジーによるデータ収集やリモートモニタリングを提供することで地域のまちづくりに貢献し、持続可能な社会の実現を目指す

- **「KDDI IoTクラウド Standard」とは**  
現地に設置したセンサー・カメラなどの2,000種類以上の機器をインターネットに接続することでさまざまなデータの収集・分析が可能なサービスです。要望に応じてカスタマイズ可能な「コース」と開発不要で簡単に導入できる「パッケージ」の2種から選択可能です。

※<https://biz.kddi.com/service/iot-cloud-standard/>

# IoTビジネスイノベーション



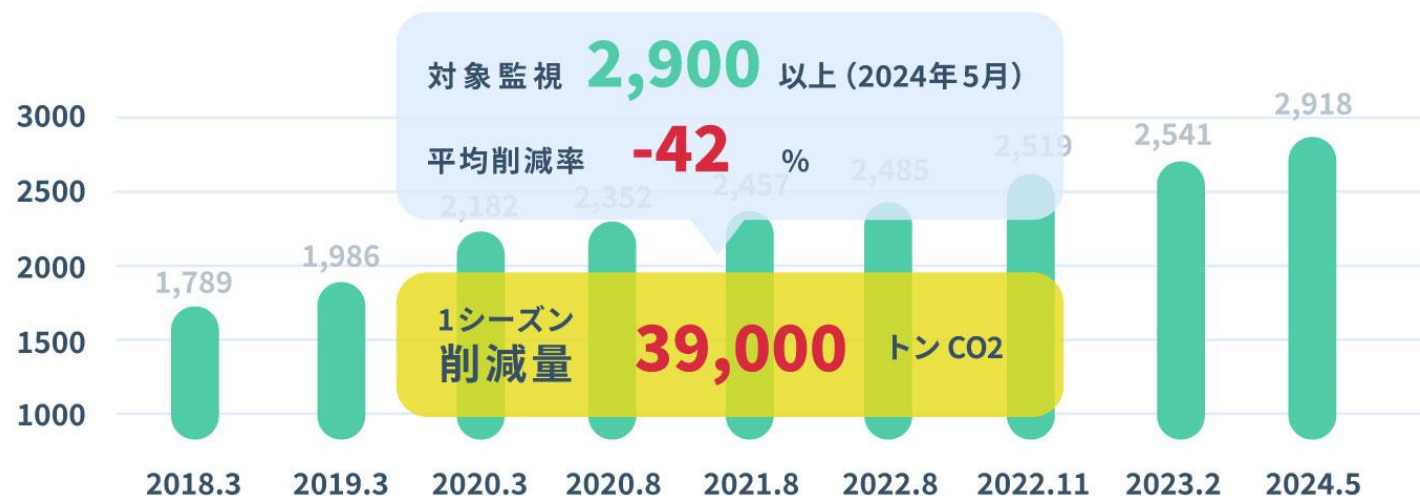
創業事業のゆりもつが好調。2,900箇所以上の監視実績により、1シーズンでのCO2削減は約39,000トン（※1）

例年と比べ最高気温が高かったことから効率的な融雪が可能となり、融雪システムの稼働時間を抑制できたことがCO2削減量増加の要因。また、類似サービスを提供しているサンケーコーポレーションに、当社IoTゲートウェイデバイスをOEM提供、サンケーコーポレーションの監視対象物件を当社で引き継いだことも物件数増加に寄与

※1 当社CRMと独自の調査により総削減量を算出

※2 参照：気象庁 過去の気象データ検索 (<https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/>)

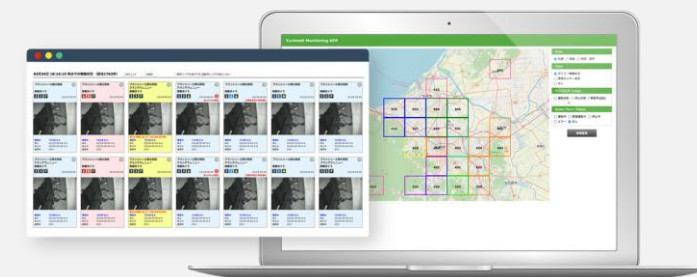
## ゆりもつとの監視件数の推移とCO2削減量



## POINT

- 年間で400件近くの監視件数が増加  
サンケーコーポレーションとパートナーシップを組むことで競争優位性が向上
- GXソリューションの成功ビジネスモデルとして順調に成長  
当社が注力するGX市場において成功ビジネスモデルとして成長
- 監視システムのUI・UXの改善やAI連携によりサービスの品質向上を目指す  
自社のデータアナリスト・AIエンジニアと協力し、監視システムの操作性向上・AIによる監視の自動化を目指す

## 監視システム 画面イメージ



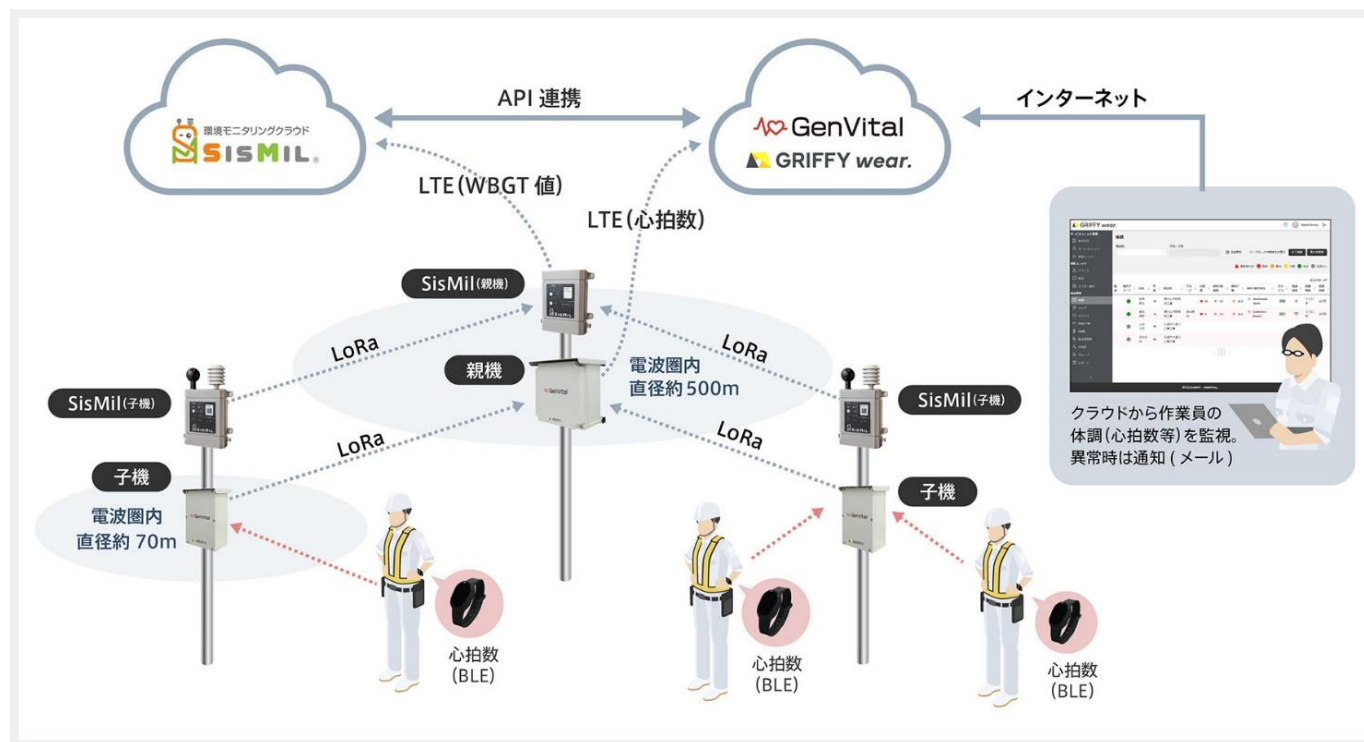
# コンストラクションソリューション

現場作業員の体調管理ソリューション「GenVital（ゲンバイタル）」を大林組と共同開発し、2024年5月より大林組が施工する建設現場での活用がスタート

現場作業員個人の心拍数および建設現場内の暑さ指数を把握し、独自に設定した体調管理指標が閾値を超えた場合に、瞬時に注意喚起メールを通知するシステム。

大林組が施工する約100か所の建設現場で現場作業員約3,000人を対象に試験運用を開始

## 現場作業員の体調管理ソリューション「GenVital」システム構成



## POINT

- リストバンドで現場作業員の心拍数と位置情報を、計測器で建設現場内の暑さ指数を収集
- 専用クラウドサーバ「GRIFFY Wear.」で体調管理指標を計算。閾値を超えた場合に瞬時に作業管理者に対し注意喚起メールを送信することで、現場作業員の体調管理をサポート
- 2024年5月より大林組が施工する約100か所の建設現場で、現場作業員約3,000人を対象に試験運用開始

# コンストラクションソリューション

## 国土交通省北海道開発局主催「現場ニーズと技術シーズのマッチング」にて高評価を獲得した、屋外無線伝送装置「Gウェーブ」をレンタル提供開始

国土交通省発注工事で、通信不感地帯における無線LAN環境構築および遠隔臨場の現場試行を実施し、2024年3月に「従来技術より優れる」評価を獲得。

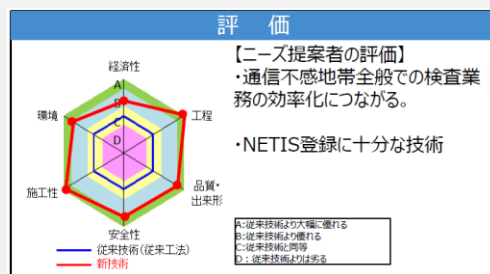
衛星通信ブロードバンド「Starlink Business」由来の高性能ネットワークを、顧客ニーズに合わせて利用範囲を拡張させ、通信不感地帯での建設DX技術の導入を支援

### POINT

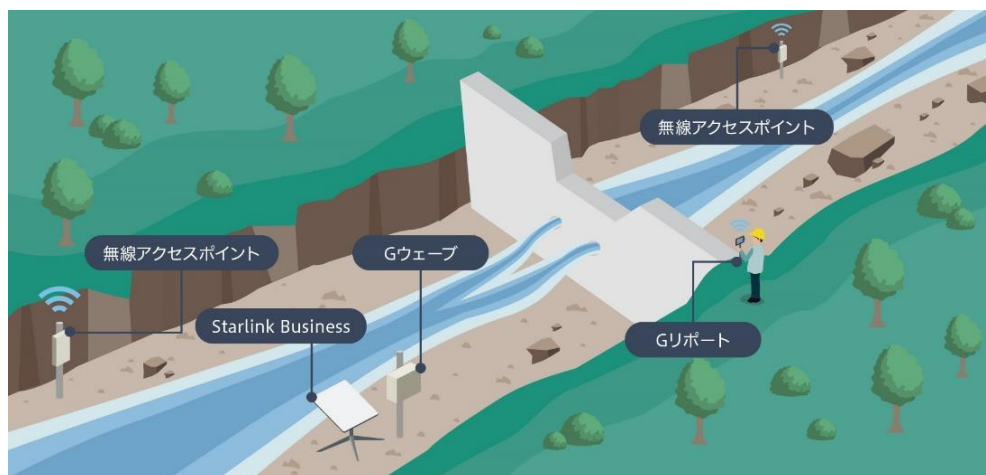
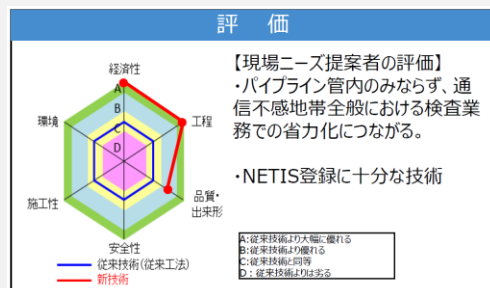
- 通信環境のない屋外環境で無線LAN環境を構築する「Gウェーブ」について、受注生産による販売のみの取り扱いに加え、2024年3月よりレンタル提供を開始
- 「Starlink Business」がもたらす高性能なネットワークの利用範囲を拡張し、「Gレポート」による遠隔臨場、クラウドカメラによる遠隔監視、IoTによるデータ収集等を通信不感地帯でも可能
- 国土交通省「現場ニーズと技術シーズのマッチング」の現場試行にて、2024年3月に「従来技術より優れる」評価を獲得、幅広い活用に期待

### 現場ニーズと技術シーズのマッチング 試行評価結果

砂防堰堤工事の通信環境構築・遠隔臨場



パイプライン工事の通信環境構築・遠隔臨場



<出典> 国土交通省北海道開発局Webサイト



## パワーでんきイノベーションが群馬県吾妻郡長野原町にauリニューアブルエナジー向け再生可能エネルギー発電設備を建設

2024年3月、群馬県吾妻郡長野原町で電力をKDDI基地局等の設備へ供給することを目的とした再生可能エネルギー発電設備を建設。年間851,645kgのCO2削減が期待できます。今後も、再生可能エネルギー事業を拡大することで、2050年の脱炭素社会実現に向けた取り組みを加速

### 群馬県吾妻郡長野原町 再生可能エネルギー発電設備



#### <設備概要>

太陽電池モジュール容量：550W×1680枚＝924.0kW

発電出力：495.0kW

トランス容量：500kVA

想定年間発電量：1,001,259kWh

年間二酸化炭素削減量：851,645kg

この太陽光発電所は、924.0kWの太陽電池モジュールを搭載し495.0kWの発電出力を実現しています。また、トランス容量は500kVAであり、安定した電力供給を可能にしています。想定される年間発電量は1,001,259kWhであり、これにより年間に851,645kgのCO2を削減することが期待されています。

#### POINT

- 年間851,645kgのCO2削減を期待  
再生可能エネルギー事業を拡大することで、持続可能な社会の実現を目指す。
- auリニューアブルエナジーとの取り組み  
エコモットとauリニューアブルエナジーは2023年12月28日、再生可能エネルギー発電事業のさらなる促進のため、2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）太陽光発電所開発に係るパートナーシップ協定を締結しております。
- 群馬県・KDDI・auリニューアブルエナジーは再生可能エネルギー導入拡大に向けGX推進の連携協定を締結  
3者は2023年6月29日に「GX（グリーントランスフォーメーション）推進による自立分散型社会の実現に向けた連携協定」を締結しております。  
パワーでんきイノベーションの社は群馬にあり、太陽光発電所開発に伴う用地取得に始まり設備の設計・開発・提案等に貢献いたします。

# 04 Appendix

# 会社概要

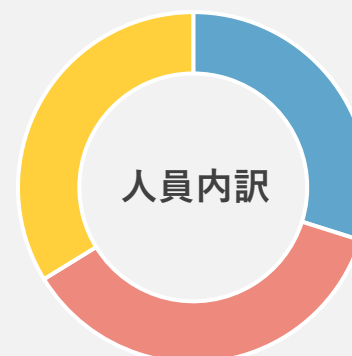
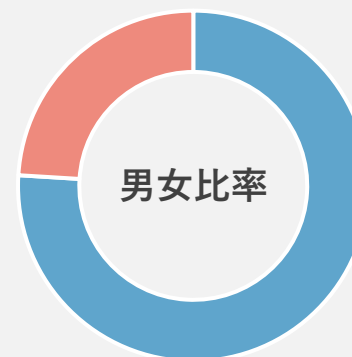


社名	エコモット株式会社
代表者	代表取締役 入澤 拓也
設立	2007年2月（決算期：8月）
資本金	6億1,796万円（2024年5月末現在）
本所在地	北海道札幌市中央区北1条東1丁目2-5 カレスサッポロビル7F
営業所	札幌・東京・青森
事業概要	IoTインテグレーション事業

- 2017年6月21日 札幌証券取引所アンビシャス上場
- 2018年6月22日 東京証券取引所マザーズ(現グロース)上場
- 2019年1月16日 KDDI株式会社と資本業務提携
- 2023年3月27日 積水樹脂株式会社と資本業務提携

従業員数（連結）

140名〔14名〕 2024年5月末時点



■ 男性 … **76.0%**

■ 女性 … **24.0%**

■ 営業職 … **29.9%**  
営業・カスタマーサービス 他

■ 技術職 … **36.3%**  
SE、設計製造、工事 他

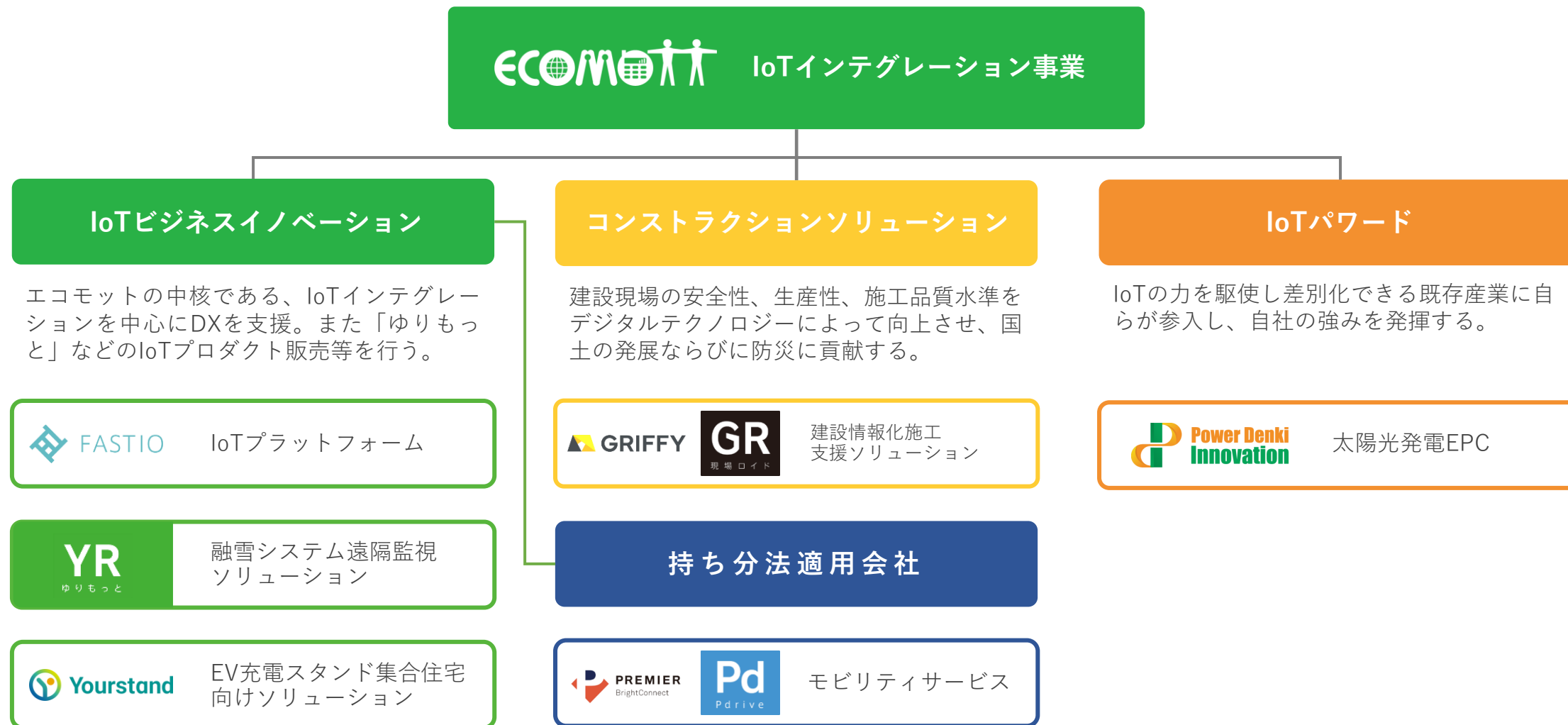
■ 管理・総合職 … **33.8%**  
管理・カスタマーサポート 他

※従業員数は就業人員数（当社グループから社外への出向者・役員を除く）であり、臨時雇用者数（パートタイマー）は〔 〕内に記載しております。



## サステナブルな社会（持続可能な社会）の実現

創業以来、一貫してIoTインテグレーション専門プロバイダーとしてソリューションを提供



## エコモットの強み

## 人材育成・採用強化

### CONNECT

接続



2,000種類以上のセンサー・計測機器の接続実績あり

### DEVICE

IoTゲートウェイデバイス



自社開発で用途にあわせたゲートウェイデバイスを提供

### NETWORK

ネットワーク



モバイル通信をメインとし、LPWAや衛星通信も提供

### CLOUD

クラウド



用途によりAWSまたはAzureで提供

### APP

アプリケーション



標準のFASTIOアプリでスピーディに導入可能

### AI

人工知能



飲食店や建設現場を中心にさまざまなAIを提供

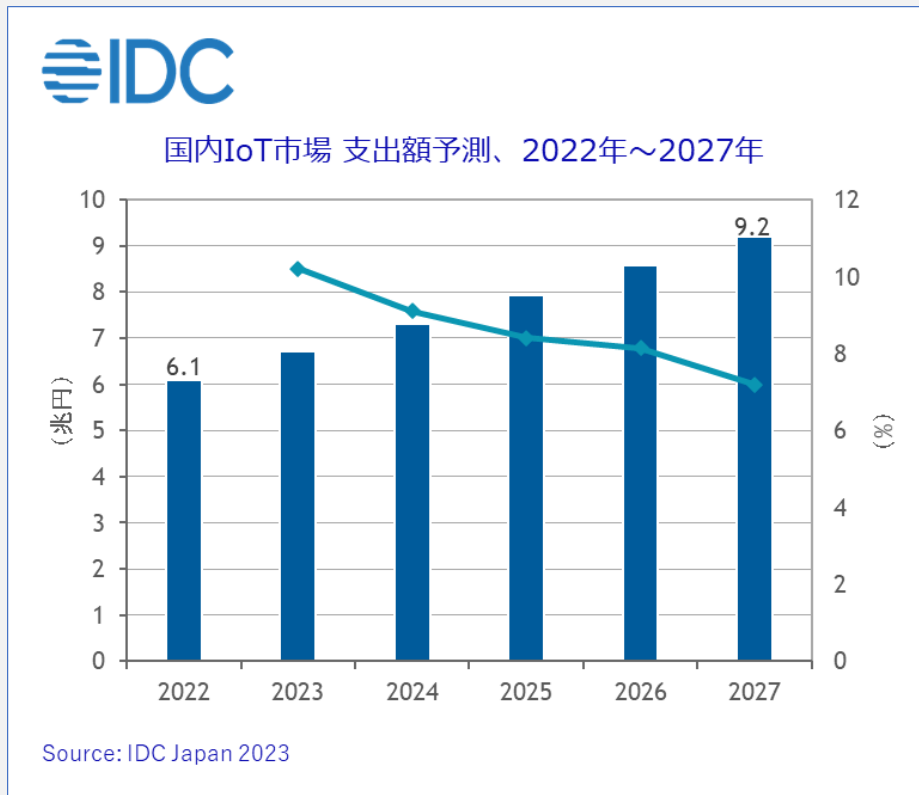
10,000件以上の導入実績で培った「つなげる力」

エンジニアの働きやすい環境 & 資格取得の支援

「つなげる力」を強みとしたIoTプラットフォームをワンストップで提供

# ビジネスモデル：国内IoT市場

国内IoT市場におけるユーザー支出額は、2022年の実績が6兆818億円、2022年～2027年のCARGは8.6%と非常に高く、2027年には9兆1877億円に達すると予測されている成長市場である。



## ■当社の主なターゲット市場



成長の背景にはIoT技術の普及と認知拡大が要因であると考えられ、様々な業種の企業も生産性や効率の向上を目指しIoTを採用している。より高まるIoT需要に応えるべく、事業部ごとにターゲット市場を明確にし、最適な製品・サービスの提供を行う。

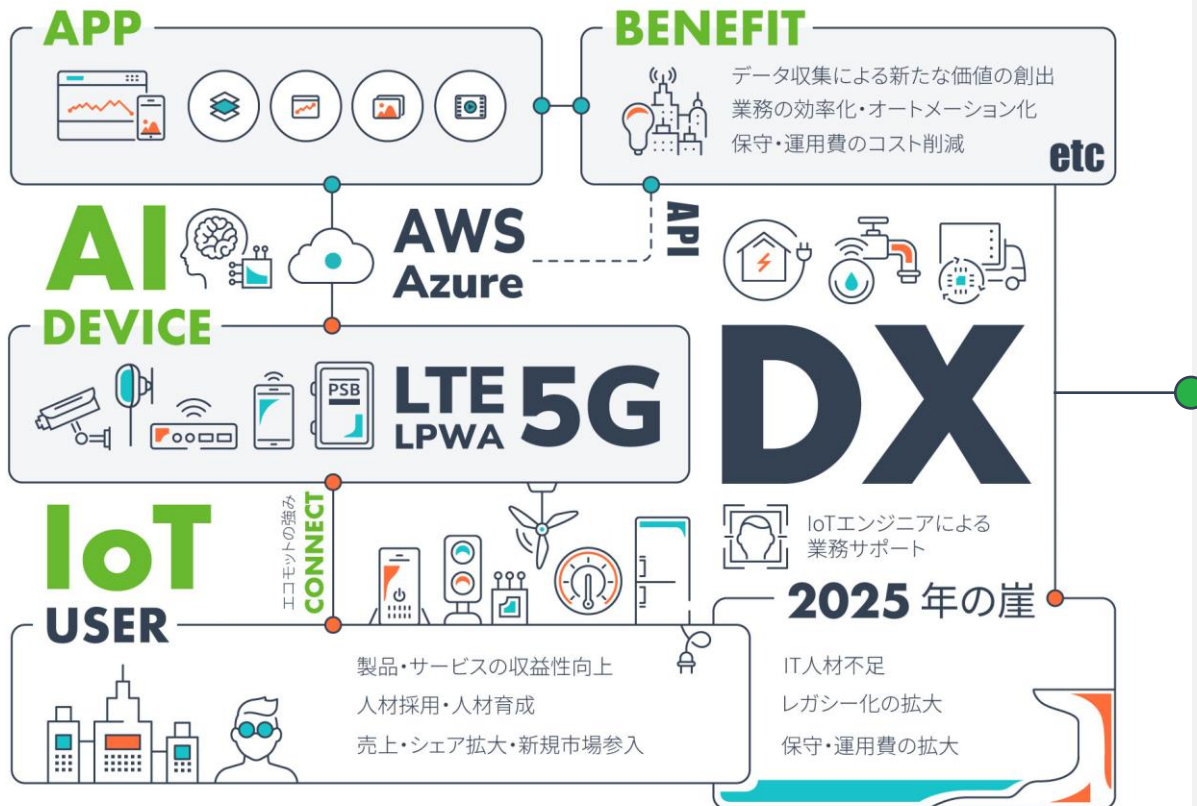
※国内IoT市場 支出額予測、2022年～2027年（出典：IDC Japan）

# ビジネスモデル：IoTプラットフォーム事例



当社のIoTエキスパートが顧客の課題をヒアリング、ターゲットとなる「モノ」のデータ収集を行い、サーバー構築からアプリ開発、必要に応じてAIによる業務効率化・品質向上などを提案。社内のIT人材不足や各レイヤーにおけるデバイス・開発先の選定などに悩むことなく、いかにDXにおけるベネフィットの部分を拡大していくかという重要な点に注力することができるIoTプラットフォーム

「つなげる力」を強みとした、包括的なIoTプラットフォーム



## 事例01：KDDI「KDDI IoTクラウドStandard」



FASTIOをベースに共同開発。現地に設置したセンサー・カメラなどの2,000種類以上の機器をインターネットに接続することでさまざまなデータの収集・分析が可能なサービス。要望に応じてカスタマイズ可能な「コース」と開発不要で簡単に導入できる「パッケージ」の2種から選択可能。

## 事例02：積水樹脂「LED電光表示板のIoT化」



積水樹脂とのLED電光表示板のIoT化を共同開発中。センサーデータ・画像データだけではなく、AI活用による付加価値向上を視野に継続開発中。



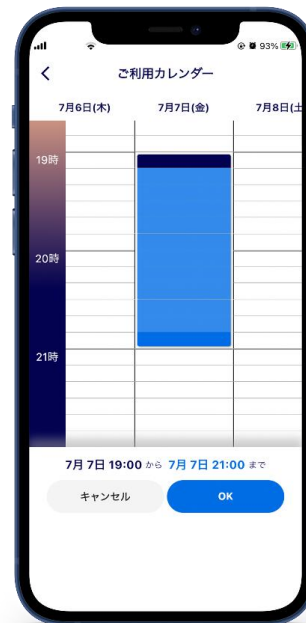
# サービス紹介：IoTビジネスイノベーション



EV充電集合住宅向けソリューション



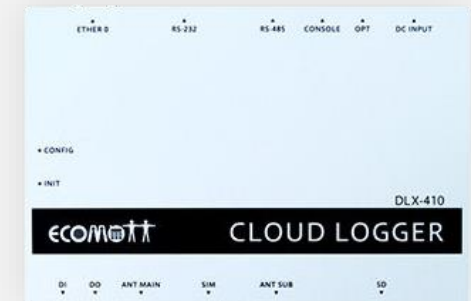
集合住宅における、EV充電器の運用課題を解決するためのシステムを北海道・青森エリアで提供。アプリ上でEV充電器の予約管理や決済、遠隔制御を実現



## POINT

- ユアスタンド社と資本業務提携を行い北海道・青森エリアの集合住宅に販売
- ゆりもつとで接点のある管理会社・マンションオーナーにアプローチ
- 国や自治体のEV導入補助金の活用
- Yourstandで当社IoTデバイスが採用

制御特化型省電力汎用データロガー  
「クラウドロガーLTE (Cat1)」



# サービス紹介：IoTビジネスイノベーション



融雪システム遠隔監視ソリューション

**YR** ゆりもっと

融雪ボイラーが設置されている施設の路面状況を、当社の監視センターで遠隔監視、従来の降雪センサーによる運用と比べ、融雪にかかるエネルギーコストを大幅に削減することができるサービス

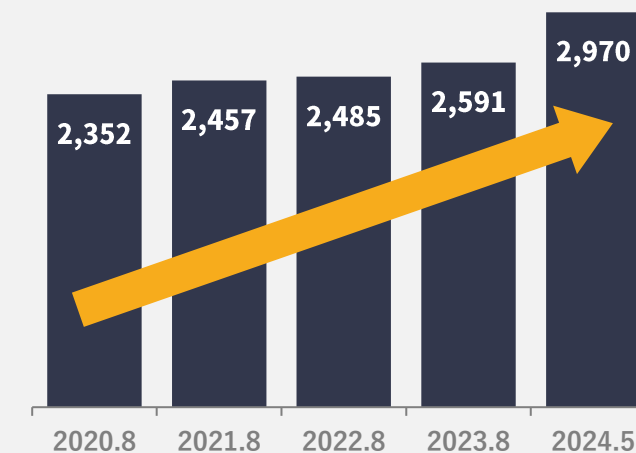


## POINT

- 北海道・北東北のマンションを顧客とし、**2,900箇所以上の監視実績**。同業他社との協業により、導入実績が大幅に増加
- 灯油・ガス等の**年間燃料コストを平均42%削減**
- **1シーズンで39,000トンのCO2削減**  
(日本人1人あたりCO2排出量8.4トン※)
- 将来的には**AIによる監視自動化**を目指す

※全国地球温暖化防止活動推進センター  
「日本の二酸化炭素排出量の推移」  
<https://www.jccca.org/download/65455> (2024/4/3)

ゆりもっと導入実績 (単位：箇所)



# サービス紹介：コンストラクションソリューション



株式会社 GRIFFY 建設現場向けDXサービス「現場ロイド」 (NETIS対応)



18,000件以上の土木建設・災害現場でご利用いただいている「現場の見える化」サービス。工事現場の安全性向上・業務効率化・品質向上を目的とした多種多様な製品を提供

福井コンピュータ「EX-TREND武蔵」と連携  
対前年同期比で売上高が6倍強と好調

**BAIAS (バイアス)**  
配筋検査ARシステム



NETIS登録番号：CB-230022-A

2024年5月、国土交通省「NETIS」に  
登録。更なる普及が期待される

**PROLICA (プロリカ)**  
生産性向上エッジAIカメラ



活用事例：  
出庫箇所に接近する車両を検知

NETIS登録番号：KT-240018-A

対前年同期比で売上高が180%  
引き続き好調に推移

**おんどロイド**  
コンクリート養生温度管理システム

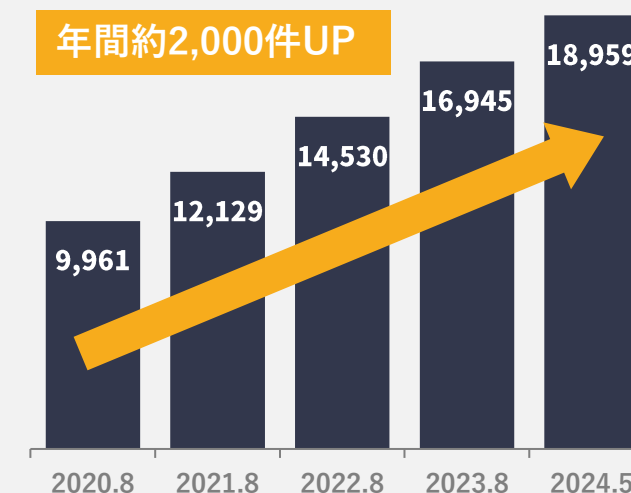


NETIS登録番号：KT-230101-A

## POINT

- 販売代理店をメインとした全国の営業網で18,000件以上の導入実績
- 公共工事の入札時に加点評価がつくNETIS対応製品が豊富
- NETIS対応製品含む42アイテムものパッケージ製品の取り扱い

## 現場ロイド導入実績 (単位：件)



# サービス紹介：IoTパワード

株式会社パワーでんきイノベーション



グリーンエネルギーの普及のため、太陽光発電EPC※1 事業へ参入  
当社IoT・AI技術力や蓄電池製品を生かし、単純な施工会社ではなく、差別化されたビジネスモデルを構築

※1 EPCとは、Engineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（建設）の頭文字を取った用語

## メガソーラー発電所建設

- 野立ての太陽光発電のEPC事業
- 工場や店舗などの自家消費型ソーラー発電システム設置事業
- 一般家庭向け屋根置きソーラーパネル・蓄電池設置事業



### POINT

- KDDIグループ会社として、auリニューアブルエナジー社との連携を強める。  
2023年6月29日、群馬県、KDDI社、auリニューアブルエナジー社がGX推進の連携協定を締結
- 太陽光発電施設のIoTによる遠隔監視・制御のニーズが拡大
- 自家消費型、第三者所有PPAモデルなどのマーケットに展開



当社は、創業当初から「未来の常識を創る」を理念に、社会問題と向き合い、新たなアプローチによる問題解決を推進。独自のIoT×AIテクノロジーを活かしたソリューションを創造し、世界全体の持続可能な社会の実現を目指す。

## PHILOSOPHY 「未来の常識を創る」



### 環境 環境問題を解決するIoTソリューションの提供

未来の子供たちが安心して暮らせる世の中をつくるため、自社GXソリューションの提供やグループ会社との再生可能エネルギーの普及を推進



### 働く人 ひとりひとりのウェルビーイングを目指して

社員ひとりひとりが働きやすく、心身ともに健康な状態を目指します。主に社内交流の場や子育て支援、フィットネスイベントの開催など



### 社会貢献 北海道最大級の親子向け環境イベントに参加

毎年、北海道最大級の親子向け環境イベント「環境広場さっぽろ」に参加。環境問題を共有し、より快適で安心なまちづくりを目指す



## 社員インタビュー

エコモットのサステナビリティ活動を採用向けインタビュー動画として配信しています。自社の活動や社員・オフィスの雰囲気を発信していくことで、採用活動だけではなく、サステナビリティ活動の参考事例としていただき、持続可能な社会の実現を目指します。

### 働きやすい環境編



### ウェルネス編



エコモット YouTube



# 人材への投資（福利厚生）



より働きやすい環境を提供することで、従業員のモチベーションを高め生産性向上を目指す  
他にも、子育て世代の従業員が多いことから、ベビーシッター補助や妊活補助といった子育て支援制度を実施

## 社内表彰制度



新サービスの開発や新しい取り組みに対して表彰を行う制度。自薦他薦問わず、バックオフィスから営業、開発まで幅広い人が受賞しています。

## インセンティブ制度



個人やチームの成果に対して賞与を支給する制度。成果や価値に対して賞与でも還元をしています。

## 資格取得奨励金制度



会社が推奨している資格を取得すると受験料・テキスト代・報奨金がもらえる制度。常に成長し続ける社員を応援しています。

## 社内交流制度



ランチ会や懇親会の費用を会社が負担する制度。社員同士の交流を行い、社内の活性化を図っています。

## フレックス制度



コアタイムは11時から16時に設定し、ワークライフバランスを高いところで維持することを支援する制度です。

## 共済会制度



保険組合の共済会に加入しています。ご家族の健康診断の助成やスポーツジム、旅行や観劇、プロ野球チケットの優待などが受けられます。

環境問題をテクノロジーで解決する  
私たちはIoTソリューションベンダーです。



- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 本資料で提供している情報は、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものです。

## < 本資料に関するお問い合わせ先 >

エコモット株式会社 経営企画部  
TEL : 011-558-2211 Mail : [ir@ecomott.co.jp](mailto:ir@ecomott.co.jp)  
URL : <https://www.ecomott.co.jp/>